

教材6-B-(3) □と△の関係を表す式

① 『画用紙のまい数と代金の関係を表す式』の解決のために

(1) まい数と代金の間には、どのようなきまりがあるでしょう。

画用紙のまい数(枚)□	1	→	2	→	3	→	4	→	5	→	6	→	7	...
代 金 (円)△	7	→	(あ)	→	21	→	28	→	①	→	②	→	③	...

まい数が1ふえると…

7に注目しよう

代金はいくらふえるかな…

28-21 ということだよ

表の続きを考えましょう。画用紙が5まい、6まい…とふえると、代金はどのように変わっていくでしょう。①～③にあてはまる数をかきましょう。

3まいから4まいへ、1まいふえると、代金は7円ふえているよ。

①
②
③

(2) まい数が2倍、3倍…となると、代金はどうなりますか。

画用紙のまい数(枚)□	1	2	3	4	5	6	7	...
代 金 (円)△	7	(あ)	21	28	①	②	③	...

2倍 3倍 4倍

代金も同じ数ずつふえているよ。

(3) 画用紙のまい数 (□) と代金 (△) の間のきまりを、式で表しましょう。

代金はみんな7の倍数だね。まい数をどのように使うと代金が求められるかな。

画用紙のまい数 × 7 = 代 金